

様式第1

## 年度ガス保安功労者経済産業大臣表彰上申書総括表

(注1) 「事業類型」は、一般ガス導管事業、特定ガス導管事業、ガス製造事業、ガス小売事業、旧簡易ガス事業等の別を記載すること。

(注2) 「産業保安監督部長表彰」は、ガス保安功労者原子力安全・保安院長表彰、通商産業局長表彰及び経済産業局長表彰を含むものとし、それらが分かるように記載すること。

(注3) 推薦順に記載すること。

(注4) 所在地については、都道府県・市区町村名までを記載する。

① ガス製造・ガス供給事業者の部 ( 件)

(112点以上)

事業者の名称	所在地	事業類型	無事故年数	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	当該事業者の過去の大臣表彰回数	評点

② ガス小売事業者の部 ( 件)

(105点以上)

事業者の名称	所在地	事業類型	無事故年数	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	当該事業者の過去の大臣表彰回数	評点

③ ガス工事業者の部 ( 件)

(77点以上)

工事業者の名称	所在地	無事故年数	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	当該事業者の過去の大臣表彰回数	評点



二. 個人の部（実施要領④-二-a）（ 件）

（121点以上）

氏名	所属	所在地	事業類型	当該ガス事業者における勤続年数	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	所属会社の過去の大臣表彰回数	評点

二. 個人の部（実施要領④-二-b）（ 件）

（86点以上）

氏名	所属	所在地	事業類型	当該ガス事業者における勤続年数	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	所属会社の過去の大臣表彰回数	評点

二. 個人の部（実施要領④-二-c）（ 件）

（70点以上）

氏名	所属	所在地	事業類型	産業保安監督部長表彰受賞年度及び推薦団体	所属会社の過去の大臣表彰回数	評点

様式第1

⑤ 団体の部

イ. 経年管対策 ( 件)

(70点以上)

推薦者	名称	所在地	代表者名	産業保安監督部長表彰 受賞年度 及び推薦団体	無事故 年数	評点

ハ. その他保安の向上に顕著な功績が認められる場合 ( 件)

(70点以上)

推薦者	名称	所在地	代表者名	産業保安監督部長表彰 受賞年度 及び推薦団体	無事故 年数	評点

(ガス製造・ガス供給事業者の部)

項 目	記 載 事 項
名称 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
事業所等の長の氏名(ふりがな)	
ガス主任技術者名 (ふりがな)	( 種) (勤続年数)
事業所等の所在地 (ふりがな)	〒
推薦順位	
事業所等の沿革及び事業内容	
会社設立年	
全需要家数 (メーター取付数)	
全従業員数 (人)	
工場等従業員数 (人)	
主要設備の概要	
表彰された経緯	
功績	
推薦事由	
その他参考となる事項	

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>(1) ガス保安関係法令の遵守状況</p> <p>イ. ガス保安関係法令等の整備、活用状況</p> <p>ロ. 関係官庁に対する許認可、報告、届出等の手続きの状況</p> <p>ハ. ガス保安関係法令の技術上の基準に適合したガス工作物が設置、使用されているかどうかの状況</p>	<p>法令集等の整備状況、活用状況について、簡潔に記載する。 (単に法令集が揃えられているということだけでなく、どのように活用されているか。)</p> <p>諸手続きの実施状況(期間、期日の遵守状況等)指摘、警告等を受けたことが有る場合、時期及び内容等を記載する。</p> <p>指摘、警告等を受けたことがある場合、時期・内容等を記載する。</p>			<p>A: 法令集等が揃えられ、他者より活用状況が良い B: 法令集等が揃えられ、他者と活用状況が同等 C: 法令集等が揃えられているが、他者より活用状況が劣る D: 法令集等が不備</p> <p>A: 過去10年以上前に指摘あり又は過去に指摘等無し B: 過去8年以上10年未満に指摘等有り C: 過去5年以上8年未満に指摘等有り D: 過去5年未満に指摘等有り</p> <p>A: 過去10年以上前に指摘あり又は過去に指摘等無し B: 過去8年以上10年未満に指摘等有り C: 過去5年以上8年未満に指摘等有り D: 過去5年未満に指摘等有り</p>
<p>(2) 事故の発生状況</p> <p>ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故(自己の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p>	<p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。)</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要(事故の場合)発生年月日、内容、被害状況等、(違反の場合)違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>			<p>5年を越える1年につき3点。30点を上限とする。</p>
<p>(3) 事故の予防及び復旧対策</p> <p>イ. 災害その他非常の場合の組織規程の有無</p>	<p>① 組織規程の名称</p> <p>② 緊急時等における防災管理組織図(別添にて提出可)</p>			<p>A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る</p>

<p>ロ. 復旧、防災訓練の実施状況</p>	<p>(市町村等を行う防災訓練等に参加した場合を含めて) 最近2年間における復旧、防災訓練等の実施状況(日時、名称、参加者数等)を具体的に記載する。</p>		<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>(4) 保守運営体制 イ. ガス主任技術者の選任状況</p>	<p>① ガス主任技術者の氏名、専任又は兼任の別、主任技術者経験年数を記載する。 ② (旧簡易ガス事業者の場合) 兼任にあつては、ガス主任技術者が常駐する事業所から地点群までの平均時間、地点群数及び地点数を記載する。</p>		<p>A:適任者の場合 B:A又はCに決め難い場合 C:適任者と言ひ難い者(兼任を多く行っている者、社内の職制上の地位が低い者、その他適任と認め難い者)の場合</p>
<p>ロ. 保安規程に「保安統括(管理者)」「保安主任者(ガス主任技術者若しくはその職務代行者)」及び「保安係員」の保安管理組織を定め、かつ、適正に配置されているかどうかの状況</p>	<p>保安管理組織図を記載する。</p>		<p>A:他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る</p>
<p>ハ. ガス工作物、施設等に対する保安上の改善の有無</p>	<p>主たる改善事項を簡潔に記載する。</p>		<p>A:積極的に数多く行い、他者より良い B:他者と同等 C:あまり行われていない</p>
<p>(5) 保安教育の実施状況 イ. ガス保安等の従業員教育の実施状況</p>	<p>① 定期的に行っている従業員教育の内容及び参加者数 ② (①以外のもの) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p>		<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>ロ. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p>	<p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)</p>		<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>

<p>ハ. 社外における保安関係の研究会、講習会等への参加状況</p> <p>(6) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p> <p>ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰（自社の表彰等）有り D：無し</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		



(ガス小売事業者の部)

項 目	記 載 事 項
名称 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
事業所等の長の氏名	
事業所等の所在地 (ふりがな)	〒
推薦順位	
事業所等の沿革及び事業内容	
全従業員数 (人)	
全需要家数	
表彰された経緯	
功績	
推薦事由	
その他参考となる事項	

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
(1) ガス保安関係法令の遵守状況 イ. ガス保安関係法令等の整備、活用状況	法令集等の整備状況、活用状況について、簡潔に記載する。 (単に法令集が揃えられているということだけでなく、どのように活用されているか。)			A：法令集等が揃えられ、他者より活用状況が良い B：法令集等が揃えられ、他者と活用状況が同等 C：法令集等が揃えられているが、他者より活用状況が劣る D：法令集等が不備
ロ. 関係官庁に対する登録、報告、届出等の手続きの状況	諸手続きの実施状況（期間、期日の遵守状況等） 指摘、警告等を受けたことが有る場合、時期及び内容等を記載する。			A：過去10年以上前に指摘あり又は過去に指摘等無し B：過去8年以上10年未満に指摘等有り C：過去5年以上8年未満に指摘等有り D：過去5年未満に指摘等有り
(2) 事故の発生状況 ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故（自己の責任によらないものは除く。）の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無	① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。） ② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要（（事故の場合）発生年月日、内容、被害状況等、（違反の場合）違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等）を記載する。 ③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。			5年を越える1年につき1点。10点を上限とする。
(3) 保安管理体制 イ. 災害その他非常の場合の組織規程の有無	① 組織規程の名称 ② 緊急時等における防災管理組織図（別添にて提出可）			A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る

<p>ロ. 防災訓練の実施状況</p>	<p>(市町村や一般ガス導管事業者等が行う防災訓練に参加した場合を含めて) 最近2年間における防災訓練等の実施状況(日時、名称、参加者数等)を具体的に記載する。</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>ハ. 保安業務規程に基づく、保安業務的確な遂行のために必要な保安管理体制(事業所毎の保安管理組織等)の整備状況</p>	<p>保安管理体制(事業所毎の保安管理組織図等)を記載する。(別添にて提出)</p>			<p>A:他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る</p>
<p>二. ガス保安等の従業員教育の実施状況</p>	<p>① 定期的実施している従業員(業務委託先を含む)教育の内容及び参加者数 ② (①以外のもの) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>ホ. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p>	<p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>ヘ. 社外における保安関係の研究会、講習会等への参加状況</p>	<p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>
<p>(4) 保安業務の実施状況 イ. CO中毒事故防止のための自主保安活動の実施状況</p>	<p>法定項目の内容に加え、以下の項目について、周知を実施しているか、その取組を具体的に記載する、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非安全型機器の取替促進</li> <li>・換気励行等、消費機器の安全使用にかかる効果的な周知等</li> <li>・消費機器および給排気設備のメンテナンス</li> <li>・業務用換気警報器の設置促進</li> </ul>			<p>A:他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>

<p>ロ. ガス漏えいによる爆発又は火災事故を未然に防止するための自主保安活動の実施状況</p>	<p>法定項目の内容に加え、以下の項目について、周知を実施しているか、その取組を具体的に記載する、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費機器（業務用を含む）の正しい操作方法・安全な使用方法</li> <li>・ガス栓・接続具の正しい接続方法</li> </ul>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>
<p>(5) 需要家に対する安全教育・啓発活動の実施状況</p>	<p>需要家に対する周知活動等の実施状況を具体的に記載する。</p>			<p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>
<p>(6) 自主保安活動の公表状況</p>	<p>自主保安活動について、需要家等に対してわかりやすく公表し、正確な情報を提供しているか、その公表状況を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>
<p>(7) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰（自社の表彰等）有り D：無し</p>
<p>ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>簡潔に記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

(ガス工事業者の部)

項 目	記 載 事 項
名称 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
事業所等の長の氏名(ふりがな)	
事業所等の所在地 (ふりがな)	〒
推薦順位	
事業所等の沿革及び事業内容	
従業員数	
年間ガス工事量	(千円)
表彰された経験	
功績	
推薦事由	
その他参考となるべき事項	

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>(1) 事故の発生状況            施工したガス工事に関し、ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故(当該ガス事業者の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>(2) 危険発生の防止措置            イ. 測定器、安全防護具、工具等の整備状況</p> <p>ロ. 事故発生に備えての適確な対応策及び関係者に対する連絡体制等の組織規程の有無</p> <p>ハ. 復旧、防災訓練の実施状況</p>	<p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数(当該ガス工事事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。)</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要(事故の場合)発生年月日、内容、被害状況等、(違反の場合)違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>常備する機器等のうち、主たるものを記載する。</p> <p>次の事項につき記載する。            ① 連絡体制図            ② 組織規程の名称            (別添にて提出可)</p> <p>(市町村等の行う防災訓練等に参加した場合を含めて)最近2年間における復旧、防災訓練等の実施状況(日時、名称、参加者数等)を具体的に記載する。</p>			<p>5年を越える1年につき3点。30点を上限とする。</p> <p>A. 他者より良い            B. 他者と同等            C. 他者より劣る            D. 非常に悪い</p> <p>A. 他者より良い            B. 他者と同等            C. 他者より劣る            D. 非常に悪い</p> <p>A:回数も多く、他者より良い            B:他者と同等            C:他者より劣る            D:行っていない</p>

<p>ニ. ガス設備工事技術及びガス保安等の従業員教育の実施状況</p>	<p>① 定期的を実施している従業員教育の内容及び参加者数 ② (①以外のもの) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p>			<p>A : 回数も多く、他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る D : 行っていない</p>
<p>ホ. 社内におけるガス設備工事技術関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p>	<p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)</p>			<p>A : 回数も多く、他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る D : 行っていない</p>
<p>ヘ. 社外におけるガス設備工事技術関係の研究会、講習会等への参加状況</p>	<p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>			<p>A : 回数も多く、他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る D : 行っていない</p>
<p>(3) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>A : ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B : ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C : 上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D : 無し</p>
<p>ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>簡潔に記載する。</p>			<p>A : 他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

(個人の部 (ガス主任技術者))

項 目		記 載 事 項
氏名 (ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地 (ふりがな)		(都道府県名)
現住所 (ふりがな)		〒
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の取得年月日	
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
推薦事由		
その他参考となるべき事項		



(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>①ガス主任技術者選任年数 ガス主任技術者として選任された年数</p> <p>②ガス保安の確保に関する貢献 イ. ガス主任技術者として従事した工場等において、当該従事期間のガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（当該ガス主任技術者の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。）</p> <p>ロ. ガス主任技術者以外で、ガス保安関係の職務に従事した工場等においてガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（当該ガス主任技術者の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。）</p>	<p>通算した選任年数及び職務に従事した経歴を簡潔に記載する。</p> <p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。）</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要（（事故の場合）発生年月日、内容、被害状況等、（違反の場合）違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。）</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要（（事故の場合）発生年月日、内容、被害状況等、（違反の場合）違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>			<p>1年につき3点。45点を上限とする。</p> <p>※事故について（人損の場合）もしくは（物損の場合）のいずれかを評点とする。（上限は10点）</p> <p>（人損の場合） A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去5年未満に事故・違反有り</p> <p>（物損の場合） A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去3年以上5年未満に事故・違反有り E：過去3年未満に事故・違反有り</p> <p>（ガス主任技術者として従事した期間除く） 無事故である期間を1年1点とし、上限5点を加算する。</p>

<p>ハ、ガス保安に関する改善、研究、考案、 発明等の有無</p>	<p>時期、内容、意義等を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：無し</p>
<p>③保安教育に関する貢献 イ、ガス保安等の従業員教育の講師として 実績の有無</p>	<p>実績を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p>
<p>ロ、社内におけるガス保安関係の委員会、 研究会の委員としての実績の有無</p>	<p>実績を記載する。</p>			<p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p>
<p>ハ、その他ガス保安の技術又は知識の向上 に特筆すべき功績の有無</p>	<p>実績を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：功績無し</p>
<p>④表彰受賞その他 イ、表彰関係</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・ 表彰者等を記載する。</p>			<p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の 表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の 表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D：無し</p>
<p>ロ、その他会社の模範として特筆すべき事 項</p>	<p>簡潔に記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出する こと</p>		

(個人の部 (ガス保安関係永年勤続者))

項 目		記 載 事 項
氏名 (ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地 (ふりがな)		(都道府県名)
現住所 (ふりがな)		〒
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の有無	(有の場合は種類及び取得年月日)
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
推薦事由		
その他参考となるべき事項		

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>①ガス保安関係の勤続年数 ガス保安関係の職務に従事した年数</p> <p>②ガス保安の確保に関する貢献 イ. ガス保安関係の職務に従事した工場等において、当該従事期間のガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（自己の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。）</p> <p>ロ. ガス保安に関する改善、研究、考案、発明等の有無</p> <p>ハ. ガス保安等の従業員教育の講師としての実績の有無</p> <p>ニ. 官公庁又は団体等のガス保安関係の委員会の委員としての実績の有無</p>	<p>通算した従事年数及び職務に従事した経歴を簡潔に記載する。</p> <p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。）</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要（（事故の場合）発生年月日、内容、被害状況等、（違反の場合）違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>時期、内容、意義等を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p>			<p>1年につき1点。40点を上限とする。</p> <p>※事故について（人損の場合）もしくは（物損の場合）のいずれかを評点とする。（上限は10点）</p> <p>（人損の場合） A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去5年未満に事故・違反有り</p> <p>（物損の場合） A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去3年以上5年未満に事故・違反有り E：過去3年未満に事故・違反有り</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p> <p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p> <p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>

<p>ホ. その他ガス保安の技術又は知識の向上に特筆すべき功績の有無</p> <p>③表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p> <p>ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>実績を記載する。</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>D：実績無し</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D：無し</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

(個人の部(実施要領④-二-a))

項 目		記 載 事 項
氏名(ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地(ふりがな)		(都道府県名)
現住所(ふりがな)		〒
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の有無	(有の場合は種類及び取得年月日)
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
推薦事由		
その他参考となるべき事項		

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>①勤続年数 当該ガス事業者における勤続年数</p> <p>②事業者内部での取組状況 イ. 保安に係る資格取得者数向上のための取組状況</p> <p>ロ. 警報器の設置促進等需要家保安への取組状況</p> <p>ハ. 経年管対策への取組状況</p> <p>二. ガス保安等の従業員教育の実施状況</p> <p>ホ. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p>	<p>通算した勤続年数及び経歴を簡潔に記載する。</p> <p>ガス主任技術者等の資格者数等について記載する。</p> <p>以下の点等につき簡潔に記載する。 ・良質なガス燃料への転換状況等 ・ガス漏れ警報器の設置状況 ・広報活動の充実</p> <p>以下の点等につき簡潔に記載する。 ・計画的な取組状況 ・事業資金の充当状況 (「団体の部(経年管対策)」の審査項目と同様の内容について取組状況を評価する。)</p> <p>① 定期的実施している従業員教育の内容及び参加者数 ② (①以外のもので) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p> <p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)</p>			<p>1年につき3点。45点を上限とする。</p> <p>A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない</p> <p>A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る</p> <p>A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る</p> <p>A: 回数も多く、他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない</p> <p>A: 回数も多く、他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない</p>

<p>へ. ガス保安関係法令の遵守状況</p>	<p>法令集等の整備状況、活用状況について、簡潔に記載する。 (単に法令集が揃えられているということだけでなく、どのように活用されているか。)</p>		<p>A：法令集等が揃えられ、他者より活用状況が良い B：法令集等が揃えられ、他者と活用状況が同等 C：法令集等が揃えられているが、他者より活用状況が劣る D：法令集等が不備</p>
<p>ト. ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無(自己の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。)</p>	<p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。) ② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要(事故の場合)発生日、内容、被害状況等、(違反の場合)違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等を記載する。 ③自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>		<p>※事故について(人損の場合)もしくは(物損の場合)のいずれかを評点とする。(上限は10点) (人損の場合) A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去5年未満に事故・違反有り  (物損の場合) A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去3年以上5年未満に事故・違反有り E：過去3年未満に事故・違反有り</p>
<p>③事業者外部での取組状況 イ. 社外における保安関係の研究会等への参加状況</p>	<p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>		<p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>
<p>ロ. 他の事業者の模範となるような取組の紹介実績</p>	<p>具体的な紹介実績を記載する。</p>		<p>A：回数も多く、内容も良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し</p>
<p>ハ. 表彰関係</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>		<p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り</p>



二. その他社会の模範として特筆すべき事項	簡潔に記載する。			D：無し A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る
評 点 合 計		合計点を算出すること		

(個人の部 (実施要領④-二-b))

項 目		記 載 事 項
氏名 (ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地 (ふりがな)		(都道府県名)
現住所 (ふりがな)		〒
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の有無	(有の場合は種類及び取得年月日)
	一般財団法人日本ガス機器検査協会が行う保安業務監督者資格講習課程の修了の有無	(講習修了年月日)
	その他(上記以外の場合は、同等以上の知識及び技能の内容)	(選任年月日)
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
推薦事由		
その他参考となるべき事項		

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
①勤続年数 当該ガス事業者における勤続年数	通算した勤続年数及び経歴を簡潔に記載する。			1年につき3点。45点を上限とする。
②事業者内部での取組状況 イ. 保安業務に従事する者に対する教育及び訓練の実施状況	実績を記載する。			A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し
ロ. ガス保安に関する改善、研究、考案、発明等の有無	時期、内容、意義等を記載する。			A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し
ハ. 官公庁又は団体等のガス保安関係の委員会の委員としての実績の有無	実績を記載する。			A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し
ニ. その他ガス保安の技術又は知識の向上に特筆すべき功績の有無	実績を記載する。			A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績無し
ホ. ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（自己の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。）	① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。） ② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要（（事故の場合）発生年月日、内容、被害状況等、（違反の場合）違反状態であった時期、内容、指摘・指導			※事故について（人損の場合）もしくは（物損の場合）のいずれかを評点とする。（上限は10点） （人損の場合） A：無事故・無違反 B：過去10年以上前に事故・違反有り C：過去5年以上10年未満に事故・違反有り D：過去5年未満に事故・違反有り

	<p>の状況等)を記載する。</p> <p>③自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>			<p>(物損の場合)</p> <p>A:無事故・無違反</p> <p>B:過去10年以上前に事故・違反有り</p> <p>C:過去5年以上10年未満に事故・違反有り</p> <p>D:過去3年以上5年未満に事故・違反有り</p> <p>E:過去3年未満に事故・違反有り</p>
<p>③事業者外部での取組状況</p> <p>イ.社外における保安関係の研究会等への参加状況</p>	<p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い</p> <p>B:他者と同等</p> <p>C:他者より劣る</p> <p>D:行っていない</p>
<p>ロ.他の事業者の模範となるような取組の紹介実績</p>	<p>具体的な紹介実績を記載する。</p>			<p>A:回数も多く、内容も良い</p> <p>B:他者と同等</p> <p>C:他者より劣る</p> <p>D:実績無し</p>
<p>ハ.表彰関係</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>A:ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)</p> <p>B:ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)</p> <p>C:上記以外の表彰(自社の表彰等)有り</p> <p>D:無し</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

## 年度ガス保安功労者経済産業大臣表彰審査調書

(個人の部 (実施要領④-二-c))

項 目		記 載 事 項
氏名 (ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地 (ふりがな)		(都道府県名)
現住所 (ふりがな)		〒
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の有無	(有の場合は種類及び取得年月日)
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
推薦事由		
その他参考となるべき事項		

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>保安確保の推進等</p> <p>イ. 保安の向上を促進する機器・装置・情報通信技術等の研究開発、考案、発明若しくは普及活動での顕著な功績又は保安確保の改善若しくは研究で顕著な功績の有無</p> <p>ロ. 国または関係団体などが主催するガス保安に係る委員会に着任の有無 (国若しくは団体等の委員会にて1回以上の委員長を経験し、かつ、委員長として着任している委員会が終了していること。また、自らが所属する団体が主催する委員会は含まない)</p>	<p>時期、内容、意義等を記載する。</p> <p>着任していた又は着任している委員会の名称、期間等を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>(学識者の場合) A：4委員以上 B：2～3委員 C：1委員</p> <p>(学識者以外の者の場合) A：10年以上 B：7～9年 C：6年以下</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

(団体の部 (イ. 経年管対策))

項 目	記 載 事 項
団体名 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
団体構成員及びその概要	
団体の所在地 (ふりがな)	〒
推薦順位	
団体の沿革、目的及び事業内容	
表彰された経緯	
功績	
推薦事由	
その他参考となるべき事項	

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>①事故の発生状況            ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故(当該団体の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>②保安確保の推進等            イ. 経年管対策への取組状況            対策の対象となる経年管についての現状把握、対策遂行の具体的指針となる長期計画</p> <p>ロ. 未対策経年管の削減率</p> <p>ハ. 未対策経年管の残存率</p>	<p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。)</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要(事故の場合)発生年月日、内容、被害状況等、(違反の場合)違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>① 対象の経年管を把握しているか。            ② 管の腐食状況・埋設環境・施設の公共性等を踏まえ、優先順位を設定しているか。            ③ 長期計画を策定しているか。            ④ 対策のための要員等、実施体制が整備されているか。</p> <p>平成21年度末時点における未対策経年管本数に対する平成21年度末時点から最新年度末時点までに削減した未対策経年管本数の割合(%)</p> <p>平成21年度末時点において管理したすべての灯外内管本数に対する最新年度末時点における未対策経年管本数の割合(%)</p>			<p>A：無事故・無違反            B：過去5年以上に事故・違反等有り            C：過去3年以上5年未満に事故・違反等有り            D：過去3年未満に事故・違反等有り</p> <p>A：4項目すべて完了            B：完了が4項目中3項目            C：完了が4項目中2項目            D：完了が4項目中1項目以下</p> <p>削減率            (他者との比較において大きい方が上位)            A：1位から3位まで            B：4位から6位まで            C：7位以下</p> <p>残存率            (他者との比較において小さい方が上位)            A：1位から3位            B：4位から6位まで</p>



<p>ニ、その他特筆すべき事項</p> <p>③表彰受賞その他</p>	<p>① 学校、病院、公営建物等保安上重要な建物や集合住宅、一戸建て住宅等の需要家への改修願いの頻度</p> <p>② 個別折衝内容（取組のためのPR等）、改修対策の向上</p> <p>③ 補助金（経年埋設内管対策費補助事業（平成15～21年度）、ガス導管劣化検査等支援事業（平成22年度～27年度）及びガス導管経年劣化緊急対策事業（平成25年度補正予算））を活用し、経年埋設内管の取替え促進に貢献</p> <p>④ その他</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>C：7位以下</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り （ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。） B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り （ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。） C：A、B以外</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

## 年度ガス保安功労者経済産業大臣表彰審査調書

(団体の部 (その他保安の向上に顕著な功績が認められる場合) )

項 目	記 載 事 項
団体名 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
団体構成員及びその概要	
団体の所在地 (ふりがな)	〒
推薦順位	
団体の沿革、目的及び事業内容	
表彰された経緯	
功績	
推薦事由	
その他参考となるべき事項	

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>イ. 事故の発生状況            ガス関係報告規則第4条第1項の規定による報告すべき事故(当該団体の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>ロ. 保安確保の推進等            保安の向上を促進する機器・装置・情報通信技術等の研究開発、考案、発明若しくは普及活動における顕著な功績又は保安確保の改善若しくは研究における顕著な功績の有無</p> <p>ハ. 表彰受賞その他</p>	<p>① 直近の事故及び違反等の発生から無事故・無違反である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故や違反を起こしたことがない場合は「無事故・無違反」と記載する。)</p> <p>② 無事故・無違反でない場合、事故・違反等の概要(事故の場合)発生年月日、内容、被害状況等、(違反の場合)違反状態であった時期、内容、指摘・指導の状況等を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>実績の記載</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無            受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>A: 無事故・無違反            B: 過去5年以上に事故・違反無し            C: 過去3年以上5年未満に事故・違反無し            D: 過去3年未満に事故・違反有り</p> <p>A: 他者より良い            B: 他者と同等            C: 他者より劣る</p> <p>A: ガス保安関係の表彰受賞有り            (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)            B: ガス保安関係以外で表彰受賞有り            (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)            C: A、B以外</p>
<p>評点合計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		